実践！ボランティア講座

文化施設のアクセシビリティを学ぼう

開館から１年半が経ち、新しい場所から、みんなのいつもの活動拠点になりつつあるしまんとぴあ。今年のボランティア講座は、文化施設の役割や、障害のある人も参加できる環境づくりについて、座学と実習を通し学ぶ場を開きます。
誰もが関わることができる文化施設について、一緒に学び考えてみませんか？

前編　なぜ地域に劇場が必要なのか

2025
11.22（土）14:00 ～ 16:00《座学》

会場　しまんとぴあ ミーティングルーム１・２

後編　障害のある人たちも参加できる環境づくり

2026
1.17（土）
①10:00～12:00《座学》
②13:00～15:00《実習》

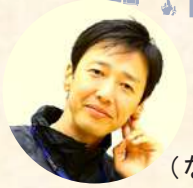
会場　①：しまんとぴあ ミーティングルーム１・２
②：しまんとぴあ しまんとホール

※各回 20 分前より受付開始。※途中休憩あり。
※後編は①のみの受講可。②のみの受講は不可。

◎講師陣

【前編】
【後編】
吉田　剛治
（よしだごうじ）

1973 年高知市生まれ。2001 年より高知市文化振興事業団に勤め、高知市文化プラザかるぽーとの開館から事業を担当する。他にも市民による音楽交流団体「国際的な音楽交流を中心に高知を楽しくするプロジェクト」、自主上映団体「Sound=Cinema」の事務局を務めるほか、NPO の理事として小劇場「蛸蔵」の運営を行い、県内外のさまざまな表現者と協働した舞台公演の企画・制作を行う。



【後編】
南部　充央
（なんぶみつお）

2001 年より国際障害者交流センターの事業にかかわる。以降、障害者も参加できる舞台芸術の企画制作、運営、アドバイザー、研修に携わる。日本障害者舞台芸術協働機構代表理事。株式会社リアライズ取締役。公益社団法人全国公立文化施設協会コーディネーター。著書に「障害者の舞台芸術鑑賞サービス入門 - 人と社会をデザインでつなぐ -」(2019/NTT 出版) がある。

アクセシビリティ について…

アクセスビリティとは、情報やサービスを、障害者や高齢者を含む誰もが不自由なく利用できるかどうかの度合いを表す概念のこと。近づきやすさ、アクセスのしやすさ、利用しやすさという意味を持ちます。

募集要項

受講料　無料

定　員　前編 30 名／後編②20 名
※要事前予約・先着順　※後編①は定員なし

対　象　高校生以上。文化芸術活動をされている方、障害を持つ当事者の方やケアされている方、興味のある方など

服装・持ち物　動きやすい服装、筆記用具

申込期間　10 月 8 日（水）10:00 ～当日まで
※先着につき、定員に達し次第受付は終了いたします。

申込方法　右の二次元コードより、WEB フォームにてお申込みください。
難しい方は、お電話や窓口でも申込可。会館までお問合せください。

手話通訳について

当講座では、希望者を対象に手話通訳を実施します。ご希望の方は、申込時にお知らせください。
＊各講座10日前までに要お申込み

その他、サポートが必要な方はご相談下さい。

主催 お問合せ
四万十市総合文化センター
しまんとぴあ
〒787-0012 高知県四万十市右山五月町 7-7
TEL 0880-34-1133
FAX 0880-34-1134
Mail info.shimantopia@kpb.co.jp
https://www.city.shimanto.lg.jp/site/shimantopia/
受付時間 9：00 ～ 21：00
休 館 日 年末年始（12 月 29 日～ 1 月 3 日）

Tall Trees Special Presents
しまんとぴあ SHIMANTOPIA